

ITとモノづくり

「デジタル匠」の時代のデンソー事件

経済ジャーナリスト

岸 宣仁

デジタル・エンジニアリングの新潮流

IT革命によるパソコン、インターネットの爆発的普及

製造業(モノづくり)の生産工程に一大変革の波

「匠の技」のデジタル化が急速に進展

インクス流 携帯電話の試作金型 匠の技10%

日本のモノづくり 器用、緻密、チームワーク

ローランド ディー ジー(組み立て)

業務用カラープリンターの組み立ては全員女性

セル生産方式のデジタル版

ジャスト・イン・タイムからジャスト・オン・タイムへ

ただし、成果主義の適用は1/6にして協調性を重視

連結売上高営業利益率 15~20%を維持

キメラ(金型のデパート)

北海道・室蘭に活路を開いた金型企業

元気なモノづくり中小企業300社に選出

携帯、デジカメから自動車部品まで8000点の金型

金型製造の平均は1ヶ月前後だが、早いもので中1日

「ロングテールの法則」を実践？

ITとMTの融合

暗黙知(アナログ)の形式知(デジタル)化

「匠の技は日々、デジタルされている」(中川)

「垂直立ち上げ、垂直降下」のデジタル家電

富士康(フォックスコン)のデジタルものづくり

日本の携帯メーカー、中国市場から完全撤退

ブラックボックス化

シャープの液晶・亀山工場

松下電器のプラズマ・尼崎工場

キヤノンのトナーカートリッジ・大分工場

「工場の組み立て工程を無人化せよ！」(御手洗)

「熟練技能者の役割はますます重要になる」

デンソー・電子データ流出事件

中国人による13万件の電子データ大量取得

産業用ロボットなど1668種類

愛知県警は横領罪で逮捕したが、処分保留で釈放

不正競争防止法の営業秘密侵害罪で立件できず

容疑者は中国航天工業総公司出身の技術者

知的財産戦略

形式知(デジタル)は一種のデータベース

特許の無料プレゼント(IPDL)

ブラックボックス化 民間自衛策の限界

抑止力の不正競争防止法(営業秘密)

最後の砦は「産業スパイ法(技術情報窃盗罪)」

不正競争防止法改正の経緯

- 2003年 営業秘密の不正取得・使用・開示行為等について刑事罰を導入(3年以下の懲役又は300万円以下の罰金)
- 2005年
 - ・罰則の引上げ(5年以下、500万円以下)
 - ・国外への不正使用・開示行為に刑事罰
 - ・退職者の不正使用・開示行為に刑事罰
 - ・法人処罰の導入(1億5000万円以下)
- 2006年
 - ・罰則の引上げ(10年以下、1000万円以下)
 - ・法人罰の引上げ(3億円以下)

米国産業スパイ法

Economic Espionage Act

連邦版のトレード・シークレット法(1996年制定)

初の摘発が日本人による遺伝子スパイ事件

デジタル情報など、形態は有形、無形を問わない

不競法に代わる日本版産業スパイ法の制定を!